



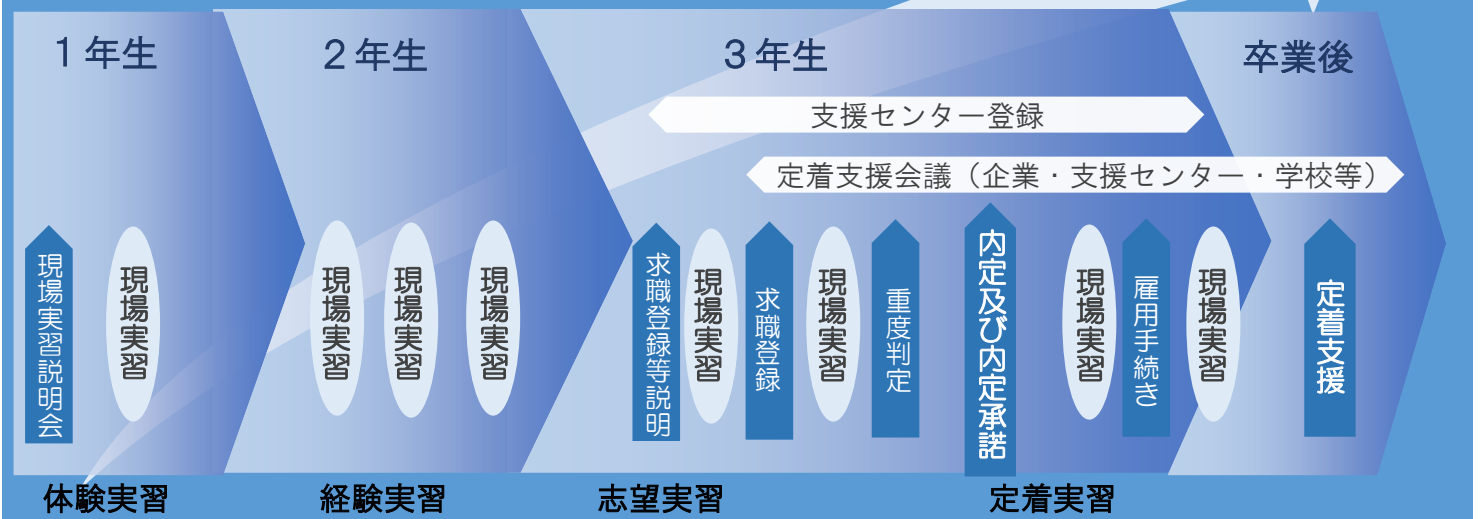
## さいたま桜の“就活”

桜の3年間でどのように実習を進め、どのような考え方で就職に結びつけるのか、**モデルプラン**を紹介しします。今年度、1つ1つの実習のねらいを明確にし、有意義な実習を実施していくために、学年ごとの実習の目標を新しくしました。



### 一般就労率100%を目指した進路指導

#### さいたま桜進路決定までのモデルプラン



- 1年生** ○体験実習を通じて職場におけるルールやマナーを身につける。  
○自己理解を深める。

職場の雰囲気を感じ、働くとはどんなことかを体験します。同時に、自分の得意、不得意や現時点で何ができて何ができないか等、自己理解を深めることが目標です。

- 2年生** ○働きたいという意欲と就労に向けた自信を育む。  
○経験実習を重ね、能力・適性に合った職種や職場を考える。

経験を積む学年です。違う職種を経験したり、友達の実習報告を参考にしたりして、職業適性を考えます。希望の職種でなくても、挑戦してみることで、大きな経験となります。担任の先生とよく相談して適切な実習経験を積み、2年生の終わり頃には自分が進むべき職種や職場の方向性が絞れるとよいでしょう。

- 3年生** ○自分の力が発揮できる職場で志望実習を継続的に行い、一般就労を目指す。  
○定着実習を通じて、卒業後の職業生活を思い描き、長く働き続ける力を身につける。

2年生で絞った職種や職場で「志望実習」に取り組みます。志望実習＝入社試験と言っても過言ではありません。就職を決めるための実習です。実習先から求められる課題の解決に取り組む姿勢や持てる力を発揮できるかが鍵になります。内定または内定承諾の後には、「定着実習」を行います。実際の勤務時間で実習したり、業務の幅を広げたりと卒業後の生活を見据え、長く働き続ける力を身につけます。

このような流れで実習を重ね、進路決定をしていくのが、理想的な“桜の就活”です。

\* 本人の適性や課題、実習先企業によっては上記のように進まないこともあります。